

⑤ 最 終 報 告 書

## 国際交流センター長殿

2020 年 4 月 21 日

O I U学籍番号	Y18044	氏名	嶽本栞
国名	中国	留学先	四川大学
留学期間	2019年8月29日～2020年1月11日		

交換留学が終了しましたので、以下のとおり報告いたします。

記

## 履修・教務、学習面について

履修はクラスによって、最初から時間割が決められています。そこに自分が履修したい選択科目を組み込んでいく形です。クラスのレベルによって、選択科目が違います。私は、選択科目として太極拳を履修していました。人によって選択科目を沢山履修している人もいれば、必修科目だけの人もいたのでどちらでも良いと思います。ただ、前期から履修しすぎると生活に慣れるまでの間や、テストの時に大変だと思います。

授業は、朝8時30分から10時までが1限目で30分の休憩時間を挟み、10時30分から12時までが2限目です。私のクラスの必修科目は毎日1～2限で、火曜日だけ2週間に1回、3限目に授業がありました。3限目は2時から3時30分までです。このように、どのクラスも、基本的に必修科目は午前中で終わるので、選択科目を履修していなければ自由に時間を使えます。

1週間の中で、総合中国語が一番授業数が多くて、総合の先生とはほぼ毎日顔をあわせることになります。なので、クラスを選ぶとき、自分のレベルにあったクラスを決めて、同じレベルでどっちのクラスが良いのか迷ったりしたら、総合中国語の先生の授業の進め方等を、比べてみて決めるといいと思います。教え方や話すスピードはそれぞれの先生によって全く違います。

また、総合中国語の先生はクラスの担任でもあるので、連絡事項がある場合は、その先生から聞くことになります。ですが、その時もきちんとWeChatのグループを使って連絡事項を伝えてくれるか、そうでないかは先生によって異なるので、総合の先生がどのような人なのかも本当に大事だと思います。

先生やクラスメイトの性格で、クラス会に行ったりもするので全体の雰囲気をみて自分の性格に合いそうなクラスを選んでみてください。

私の初級3のクラスは、発表の授業が多くて、パソコンでパワーポイントを作る事もありました。私は何もしていなくて、その時になってから使えるようにしたのですが、パソコンのキーボード入力に中国語を追加して、拼音で打てるようにしておくことをおすすめします。

初級3のクラスだけ他のクラスと授業を受ける建物が違い、寮から歩いて15分程の場所にありました。ほとんどの人が使う海外教育学院という建物よりは遠いですが、近くに果物のお店やスーパー、食堂があったので休憩時間はそこに食べ物を買いに行くことができ、不便に感じることはませんでした。

## 生活面について

中国は日本に比べて物価がとても安いので、日本より安く生活できました。

移動は基本的にシェアサイクルでした。月150円程で1ヶ月間乗り放題なので本当に安いです。何より、どこででも乗り捨てる事ができるので便利です。

地下鉄はどこまで行っても大体3元しかかかりません。私自身、頻繁に利用する事はありませんでしたが、タクシーも安いです。日本にいると料金が高すぎてあまり乗らないと思うので、経験として留学中に沢山利用してみるのも良いと思います。

四川大学の寮にはキッチンが無いので、基本毎日3食外食です。朝ご飯は教室に行くまでの売店でパンを購入して、休憩時間に食べていました。昼食と夜ご飯は、大学内の小北門や南門辺りで食べる事が多かったです。四川大学はとにかく広くて、敷地内に食事をするお店や飲み物のお店が沢山あるので色々探索して、お気に入りのお店を見つけてみてください。辛いお店ばかりでは無いので、もし辛いものが苦手でも困らないと思います。外食ばかりの生活が嫌になったりしたときは、持ち帰りやデリバリーをして自分の部屋でゆっくり食べるのも良いと思います。

服や生活用品以外で欲しい物は、タオバオというサイトで買っていました。

タオバオは注文して約1週間程度で届きます。アプリ上で自分の荷物が今どこにあるのか、発送状況が確認できるので安心です。冬物の洋服を購入した時、生地の質が心配でしたが、あまり気になる事は無かったです。中には、数回着ただけで破れたり、毛玉だらけになるものもありましたが、値段が安いのでワンシーズンだけのものと思えば気になりません。

ブランド物の偽物が多いので注意してください。また、タオバオを使う時はアリペイに登録しておく必要があります。

途中から寮の洗濯機が有料になりました。1回2元ですが、有料になってからは洗濯物を溜めて洗濯をするようにしたり、ルームメイトと二人分と一緒に回すようにしていました。洗濯機は6台あるので、何時でも大体空いています。洗濯機の支払いも携帯できます。

部屋のトイレは詰まりやすいですが、詰まった場合は寮のおばさんに言うと、管理している人が直しに来てくれる所以大丈夫です。部屋の電気が切れたり、何か壊れたりした時も同じように、寮のおばさんに言えば、その日の内か何日か後に修理に来てくれます。

## 費用概算

この留学にかかった留学費用総額		約	47	万円
渡航・帰国費用（航空券）	約	8.9	万円	
海外旅行傷害保険	約	7.5	万円	
査証（ビザ）取得費用	約	2	万円	
日用品	約	3.1	万円/月 ×	4 ケ月
食費	約	1.9	万円/月 ×	4 ケ月
寮費	約	1.8	万円/月 ×	4 ケ月
内訳	寮費に含む			
水・光熱費				
インターネット				
利用方法 学内で利用	寮で利用 インターネットカフェ			
複数回答可。○をつけること。				
その他（用途：教科書代）	3900	円 /	1	回
その他（用途：携帯代）	830	円 /月 ×	4	ケ月
(医療費、教科書代、現地携帯電話代などあれば)				

### 滞在中の経費について

留学中の費用については主に、アルバイトで貯めた分の貯金と奨学金を使っていました。アルバイトは2回生の1月末くらいから多めに入るようにして、少し節約もしながらコツコツ貯めました。

到着してから半年分の寮費を支払う為の現金と、銀行を開設するまでの買い物(食料等)に必要な現金を、日本で中国元に換金して手荷物として持っていました。なので、最初のうちは現金支払いをしていましたが、銀行カードを作って登録を済ませてからは、携帯支払いでの生活していました。

中国の銀行のATMに、日本で作ったデビットカードを差し込んで金額を選択したら、中国元でお金が引き出されるので、その現金を中国の銀行口座に入金し、さらに銀行口座から携帯にチャージするようにしていました。

日本の口座からお金を引き出すと、海外手数料がかかります。その手数料が高いので、私は一度に多く引き出すようにしていました。

私は、デビットカード1枚しか持っていましたが、万が一中国の口座と日本の口座の暗証番号がごちゃごちゃになって、入力間違い等をしてしまうと、カードが使えなくなってしまうこともあるので、もしもの予備として、使える別の日本の口座があると安心かもしれません。

## その他・後輩へのアドバイス

### 出発前（どの様な準備が必要でしたか）

デビットカードまたはクレジットカードを作つておく方が良いと思います。私はどちらも持つていなかつたので出発前にデビットカードを作りました。申し込みをしてから届くまでに2週間弱かかったので、早めに取りかかる方が安心だと思います。（銀行の種類は何でも良いです。）到着してから中国のSIMカードを入れて携帯を使えるようにする為に、私は出発の直前にSIMロック解除をして行きました。

### 研修中（どの様に学習に取り組むと良いか、余暇の過ごし方）

予習・復習を欠かさずに行うようにすることで、なんとか授業についていくことができたので予習・復習は大事だと思います。また、クラスメイトの外国人の友達と積極的に交流するようにしていました。友達もできるし、会話することが勉強にもなるので、とても良いと思います。

余暇は動画を見たり、疲れている時は昼寝をする等して時間を使っていました。また、ルームメイトとその日の出来事をひたすら話す事もありました。

### 研修中に困ったことはなんですか。また、どの様に対応しましたか。

寮の水道が水しか出なくなった事と、断水した事です。水しか出なくなったその日はボディシートで身体を拭き、シャワーは諦めましたが、3日程続いたので3日目はさすがに水のままシャワーをしました。真冬だったので寒くて本当に困りました。

断水した時トイレは、毎回寮から少し離れた公衆トイレまで、行くようにしていました。洗顔や歯磨きは買いだめしておいた飲料水を使いました。

### 自由記入欄（次年度以降の後輩へ向けてのメッセージなど）

留学するにあたり不安な事も沢山あると思いますが、分からぬことがあれば是非、現地の人に聞いて頼つてみてください。中国人は話し方がきついと思うかもしれません、本当に親切な人ばかりです。

また中国での生活に慣れてきたら、行きたい場所、やりたいこと（旅行等）が出てくると思います。そんな時は、迷わず行動してください。特に1年留学の人は、まだ後期があるから等と思うのではなく、時間があるのならその時に実行下さい。世界情勢はいつ何が起きるか分かりません。勉強はもちろん大事ですが、他の事も後悔のないように過ごしてください。